

提出された意見の概要及び意見に対する考え方

番号	該当ページ	該当項目	意見の概要	意見に対する考え方	意見の採択により修正した箇所の有無
1	5 8 その他、全体	I 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針 4 関連事項 (1) 担い手の確保、経営力の向上 (6) 環境と調和のとれた畜産経営	酪農・肉用牛経営では、生産者、従事者が休む暇がないこと、周囲からおおいに指摘を受けることがあり、この2点で離農していく人がいると聞く。これらが解決されないと、ますます離農が進むと思う。	ご意見いただき、ありがとうございます。 ご意見のとおり、酪農及び肉用牛経営は、搾乳やエサやり等の作業があり、周年拘束性が高くなっています。 本計画に記載したとおり、持続可能な経営を図るため、定期的に休めるためのヘルパー制度の充実、スマート機器を活用した作業の省力化を推進してまいります。 また、おいに関しては、対策に係る技術情報をHPや研修会で提供するとともに、関連する施設整備を支援していくことで、県民の酪農及び肉用牛経営に対する理解促進を図ってまいります。	無
2	11～13	III 近代的な酪農経営方式及び肉用牛経営方式の指標	近代的な酪農経営方式及び肉用牛経営方式を真剣に考えるべき。	ご意見いただき、ありがとうございます。 本計画における「近代的な酪農経営方式及び肉用牛経営方式の指標」については、現在の情勢を踏まえ、今後目指すべき経営のモデルを示したものです。 今後も、情勢の変化を加味しながら、経営状況を注視し、真剣に考えていきます。	無
3	9 その他、全体	I 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針 4 関連事項 (10) 消費者の理解醸成	牛乳を飲む人が少なくなっているようだが、原因について検討する必要があると思う。牛乳の良さをもっとPRすべき。上州牛の美味しさをもっと全国的にも海外にもPRすれば食べてくれる人が増えると思う。海外進出も検討する必要があるのではないか。	ご意見いただき、ありがとうございます。 ご意見のとおり、消費者の理解醸成を図ることは非常に重要なことであり、今後も引き続き、国や県内生産者団体、関係者と連携して、しっかりと消費者の理解醸成や海外展開に取り組んでまいります。	無